ロシア語教育研究会・日本ロシア語学校教師会共催 シンポジウム

日本社会におけるバイリンガル教育の現在

― 子どもに必要な教科書を、いま考える ―

日本語・ロシア語のバイリンガル教育にスポットライトを当てたシンポジウムに参加してみませんか？
4 回目の開催となる今年のシンポジウムでは、バイリンガルの子どもたちの成長を助ける、日本社会の実情を的確に反映した教科書について考えます。 パネリストの発表やディスカッションなど、 魅力的なプログラムを用意しました。

2015 年 10月18 日（日）10:00 ―17:15（9:30 より受付）
東京外国語大学 府中キャンパス 本館２階

10:00~10:10 開会のごあいさつ／柳町 裕子（新潟大学教授、 全日本ロシア語教育研究会 会長）

10:10~13:10 第一部 司会：D. クマトレーンコ（日本ロシア語学校教師会コーディネーター）
①「第3回シンポジウム、 その後」D. クマトレーンコ
②「当該国の社会事情を反映した教科書はどこまで必要か」A. ポドガエーフスカヤ（アムステルダム大学准教授）
③「子どもたちはどこで勘違いするのか ― 日本／ロシアのバイリンガルに特有のミスについて」M. カザケーヴィチ（大阪外国語大学講師）
④「軽度の発音障がいとそれを克服する手立て」I. サヴェーリエヴァ（言語療法士、 駐日ロシア大使館付属小学校教諭）

14:10~15:25 第二部 司会：武田 エレーナ（富山大学講師）
⑤「子ども能力開発教室『ウームカ』横浜校プレゼンテーション」有吉 アンナ（『ウームカ』代表・教諭）
⑥「新書『成功へ、一歩ずつ』(6-18歳児童のロシア語能力検定受験に向けたアドバイス書)プレゼンテーション」G. シャトーヒナ（外務省研修所講師）
⑦「両親による子供のロシア語教育過程に対する社会心理学的要因の影響」K. ゴロヒナ（東京大学博士課程）

15:35~16:30 第三部 司会：浜野 アーラ（東京外国語大学特任講師）
⑧「バイリンガルの家庭内教育、 私たちの経験」立古 ダニエラ、 立古 譲治（保護者・ご子息）
⑨「バイリンガルの子供にはもう一方の母語を何歳から教えればいいのでしょうか」和田 オリガ 様（保護者）
⑩「ロシア／日本のバイリンガル教育をとおして得たヒント、 体験談」E. シュラーキン（保護者）

16:45~17:15 シンポジウムの総括と今後の展望

シンポジウム実行委員 ― D. クマトレーンコ、 武田 エレーナ、 浜野 アーラ

【会場へのアクセス】
JR中央線「武蔵境」駅より西武多摩川線2駅4分「多磨」駅下車、 徒歩5分（新宿より約 40 分）
京王線「飛田給」駅より京王バス（多磨駅方面）乗車10分、「東京外国語大学前」下車

【ご参加について】
参加される方のお名前とお子様の年齢、 託児サービス（下記参照）利用の有無を明記の上、メール〈**conference2.bilingual@gmail.com**〉あるいはオンライン〈**http://deti-bilingual.com/?p=1139**〉にてお申し込みください。

会費は500円です。

2～8歳までの託児サービス（昼食休憩を除く）をご利用いただけます。 利用料金は人数ならびにお子様の年齢によって変動致しますので、 お申し込みの際に個別にご案内致します。

【お願い】開催当日は途中で入退室いただけますが、 各パネリストの発表中はご遠慮ください。